

経済学部 of 教育理念・目標

経済学部は、「グローバルな視野を持って現代の経済・経営の諸問題を解決できる実践的エコノミストの養成」を教育理念として、グローバル化が進む現代経済社会の諸問題を解決し、社会の調和的発展に貢献する能力を持つ人材の育成を教育目標としています。このような人材は、広い教養や経済・経営に関する知識を持ち、問題解決とその結果の伝達に関する知的技術を身につけ、これら知識と技術、さらに創造的思考を組み合わせ、問題を論理的に俯瞰し、主体的に解決できる能力を備えた人材であると考えています。

この教育目標を達成すべく、以下に挙げる3つのポリシーに基づいた学士課程教育を行います。

経済学部 of ディプロマ・ポリシー

所定のカリキュラムによる教育プログラムに定められた単位を修得し、

- ・ 基礎的教養と現代経済社会に関する幅広い知識とそれらを駆使した思考方法・技術を身につけている。
- ・ 経済学、経営学やそれらに関する法学の専門知識と知的技術の基礎を身につけている。
- ・ 自分の考えについて、わかりやすく伝え、討論することができる。
- ・ 現代社会の課題に対して、幅広く深い教養、専門領域や隣接領域の知識と高度な応用分析能力を総合して、現実を踏まえた解決と新たな価値の創造を図る能力を身につけている。
- ・ 各コースの学修到達目標を達成している。

と認められた者に対し、学士（経済学）の学位を授与します。

経済と政策コース of 学修到達目標

- ・ ミクロ経済学、マクロ経済学をはじめとする主流な経済学の体系に基づいて、現代社会の経済システムを分析できる。
- ・ 現代社会の経済システムについて、幅広い知識を身につけている。
- ・ 基礎的知識の上に、連続した形で個別的な経済現象を対象とする応用的な知識を身につけている。
- ・ 社会現象を分析して問題点を明らかにし、その問題を解決するための政策を考察するための一連の知識を身につけている。
- ・ 現代の経済社会において何らかの役割を求め、その発展に寄与する意欲を持っている。
- ・ 現代の経済システムに関連する法律の基本的な知識を身につけている。

ファイナンスコースの学修到達目標

- ・ 金融に関連した経済学・経営学・法律学に関する知識を有している。
- ・ 国内外にかかる金融の知識を有している。
- ・ 金融に関連した情報処理方法およびモデルを把握している。
- ・ 金融に関連した政策および理論について理解している。
- ・ 現代的な金融経済にかかる問題に積極的に取り組める。
- ・ 現代的な金融経済にかかる問題に対する解決方法を検討できる。
- ・ 金融をとりまく環境や多様性に考慮した検討ができる。
- ・ 金融に対する将来像を描くことができる。

グローバル経済コースの学修到達目標

- ・ 国際経済と国際経営に関する基礎知識とその歴史的変遷を修得している。
- ・ 国際関係や国際協力に関する基礎知識を修得している。
- ・ 外国語によるコミュニケーション力および、その言語の背景にある文化・社会に関する基礎知識を修得している。
- ・ 国際的視野に立ち、我が国の経済や社会の成り立ちについて理解している。
- ・ 世界のさまざまな経済や社会について理解し、柔軟に対応できる。
- ・ 国際的な諸問題に積極的に取り組める。
- ・ 国際的な諸問題を分析できる。

経営と会計コースの学修到達目標

- ・ 企業を社会的に捉える視点と経営者や管理者の立場から捉える視点を理解している。
- ・ 企業の構造や行動、経営管理の諸側面、経営の歴史の基礎知識を修得している。
- ・ 企業会計情報を利用する内部者と外部者の視点を理解している。
- ・ 企業会計の基礎知識を修得している。
- ・ 現代企業の財務、労務、マーケティングなどの諸側面を的確に理解している。
- ・ 現代の企業会計（会計制度、管理会計など）を的確に理解している。
- ・ 現代の企業経営や会計の諸問題を感じ取り、その本質を抽出できる。
- ・ 現代の企業経営や会計の諸問題に対して科学的論理的な分析を行い、それを自分の言葉で表現できる。

総合経済コース（夜間主コース）の学修到達目標

- ・ 基礎的教養と現代経済社会に関する幅広い知識および思考方法を身につけている。
- ・ 経済学、経営学やそれらに関する法学の幅広い知識および思考方法を身につけている。
- ・ 経済学、経営学やそれらに関する法学の基礎知識に段階的・系統的に接続された応用的な知識を身につけている。
- ・ 基礎知識や応用的な知識を駆使して、現代経済社会の課題を現実的に解決する応用能力を身につけている。

- ・ 現実社会での指導的役割を担う上で必須となる歴史的視野，国際的視野，異文化理解能力，コミュニケーション能力を身につけている。
- ・ 課題発見・探求能力，批判的・論理的思考能力，表現・コミュニケーション能力を身につけそれらを総合して活用できる。
- ・ 複雑で急速な経済社会の変化に自主的・積極的に対応し，新たな価値を創造することで，地域社会に積極的に貢献しようとする志を持っている。

経済学部のカリキュラム・ポリシー

- ・ 基礎から応用へ体系的かつ段階的な学修が可能となるような科目配置を行います。
- ・ 現代経済社会に関する幅広い学問領域の基礎的知識を修得できるような多様な科目を提供します。
- ・ 職場の実践的課題に対する問題解決能力や生涯学習の能力を身につけるための少人数教育を実践します。
- ・ 4年にわたる演習科目により，自分の考えを論理的に伝え討議でき，幅広い知識と応用分析能力により，問題解決と新たな価値創造を行える能力を養います。
- ・ 入門科目で経済，経営に関する学問分野の概要を学びます。
- ・ 専門基礎科目で，現代経済社会に関する基礎的知識を修得します。
- ・ 各学修到達目標を達成するために，専門科目で，経済と政策，グローバル経済，ファイナンス，経営と会計の各コースにおける専門的な知識を学びます。
- ・ 発展的専門科目で，各コースにおける，より専門的な知識とその応用について学びます。
- ・ 授業の成績評価は，定期試験の結果やレポートや課題，ディスカッション，プレゼンテーションの成果，授業やゼミナールへ取り組む意欲・態度などの観点から行います。評価の結果，学修成果が一定の水準に達したと担当教員が認めた場合に単位が認定されます。

科目に関する別表（経済と政策コース）

科目等 資質等		入門科目	専門基礎科目	専門科目	発展的専門科目
主として養われる資質	基礎的知識・理解	経済数学入門 経済数学入門演習 国際関係概論(G SR 概論)	経済数学 統計学		
	専門的知識	経済概論 経営概論 金融概論 法学概論	簿記 ミクロ経済学 I マクロ経済学 I 経営学		
	主流な経済学の体系の理解			ミクロ経済学 II マクロ経済学 II 経済史 世界経済史 日本経済史 I, II	
	現代社会の経済システムに関する知識・理解			産業構造論 労働経済学 日本経済論 世界経済論	
	個別的な経済現象を対象とする応用的な知識			金融論 I, II 中小企業論	現代ポートフォリオ理論 保険論 開発経済学 I
	社会現象を経済的視点から分析し政策を考察するための知識			計量経済学 I, II 経済政策 A, B 公共経済学 地域経済論 財政学 A, B	地方財政論 応用数理 I 数理計画法 マーケティング マーケティング・リサーチ 経営戦略論 経営情報論
	現代の経済システムに関連する法律の基本的な知識			憲法 民法 I, II 商法 I, II	租税法 債権法 独占禁止法 I, II 行政法
	現代社会の発展へ寄与する意思			基礎ゼミ 専門ゼミ	卒研ゼミ

科目に関する別表（ファイナンスコース）

科目等 資質等		入門科目	専門基礎科目	専門科目	発展的専門科目
主として養われる資質	基礎的知識・理解	経済数学入門 経済数学入門演習 国際関係概論(G SR 概論)	経済数学 統計学		
	専門的知識	経済概論 経営概論 金融概論 法学概論	簿記 ミクロ経済学 I マクロ経済学 I 経営学		
	金融に関連した経済学・経営学・法律学に関する知識			金融論 I, II 民法 I, II 商法 I, II 財務会計論 I, II	原価計算論 I, II 管理会計論 A, B 金融商品取引法
	国内外にかかる金融の知識			国際金融論 国際経済学 I, II	銀行論 証券論 保険論
	金融に関連した情報処理方法およびモデルの知識			計量経済学 I, II 現代ポートフォリオ論	金融リスク管理
	金融に関連した政策および理論の知識			財政学 A, B 経済政策 A, B	経営戦略論 経営組織論
	現代的な金融経済にかかる問題に積極的に取り組める			基礎ゼミ 専門ゼミ	卒研ゼミ
	現代的な金融経済にかかる問題に対する解決方法に関する知識			企業ファイナンス	金融機関経営戦略 金融システム論
	金融をとりまく環境や多様性に考慮した検討ができる			国際関係論 I, II 国際経営論	開発経済学 I 国際協力機構論
	金融に対する将来像を描くことができる			基礎ゼミ 専門ゼミ	卒研ゼミ

科目に関する別表（グローバル経済コース）

科目等 資質等		入門科目	専門基礎科目	専門科目	発展的専門科目
主として養われる資質	基礎的知識・理解	経済数学入門 経済数学入門演習 国際関係概論(GSR 概論) 短期語学研修	経済数学 統計学		
	専門的知識	経済概論 経営概論 金融概論 法学概論	簿記 ミクロ経済学Ⅰ マクロ経済学Ⅰ 経営学		
	国際経済と国際経営に関する基礎知識とその歴史の変遷			国際経済学Ⅰ 開発経済学Ⅰ 世界経済論	国際経済学Ⅱ 開発経済学Ⅱ 国際金融論 企業ファイナンス 世界経済史
	国際関係や国際協力に関する基礎知識			国際関係論Ⅰ	国際関係論Ⅱ 国際協力機構論
	外国語によるコミュニケーション力および、その言語の背景にある文化・社会に関する基礎知識			英語ビジネスコミュニケーションⅠ 言語コミュニケーション（独語） 言語コミュニケーション（仏語） 言語コミュニケーション（中国語） 言語コミュニケーション（韓国語）	英語ビジネスコミュニケーションⅡ 異文化コミュニケーション論 多言語多文化社会論
	国際的視野に立ち、日本の経済や社会の成り立ちについて理解			ミクロ経済学Ⅱ マクロ経済学Ⅱ 日本経済論 金融論Ⅰ 経営管理論 経営組織論 経営戦略論	金融論Ⅱ 証券論 労務管理論 財務会計論Ⅰ,Ⅱ 原価計算論Ⅰ,Ⅱ
	世界のさまざまな経済や社会について理解し、柔軟に対応			アジア経済論 A, B ヨーロッパ経済論 アメリカ経済論	国際経営論
	国際的な諸問題に積極的に取り組める			マーケティング GSR 短期海外研修	マーケティング・リサーチ Special Topics in Global Economy 経営情報論 留学生との共修ゼミ
	国際的な諸問題を分析			基礎ゼミ 専門ゼミ	卒研ゼミ

科目に関する別表（経営と会計コース）

科目等 資質等		入門科目	専門基礎科目	専門科目	発展的専門科目
主として養われる資質	基礎的知識・理解	経済数学入門 国際関係概論 (GSR 概論)	経済数学 統計学		
	専門的知識	経済概論 経営概論 金融概論 法学概論	簿記 ミクロ経済学 I マクロ経済学 I 経営学		
	企業を社会的に捉える視点と経営者や管理者の立場から捉える視点を理解			民法 I, II	商法 I, II 租税法 経営組織論 経営戦略論 国際経営論
	企業の構造や行動、経営管理の諸側面、経営の歴史の基礎知識			企業論 A, B 経営管理論 経営史 I, II	中小企業論
	企業会計情報を利用する内部者と外部者の視点を理解			経営情報論 経営情報システム論	経営情報処理
	企業会計の基礎知識			財務会計論 I, II	現代会計論
	現代企業の財務、労務、マーケティングなどの諸側面を的確に理解			マーケティング	企業ファイナンス 労務管理論
	現代の企業会計(会計制度、管理会計など)を的確に理解			原価計算論 I, II	会計制度論 管理会計論 A, B
	現代の企業経営や会計の諸問題を感じ取り、その本質を抽出			基礎ゼミ 専門ゼミ	卒研ゼミ
	現代の企業経営や会計の諸問題に対して科学的論理的な分析を行い、それを自分の言葉で表現			マーケティング・リサーチ オペレーションズ・リサーチ I, II 数理計画法 意思決定論 応用数理 I, II	

科目に関する別表（総合経済コース：夜間主コース）

資質等	科目等	入門科目	専門基礎科目	専門科目	発展的専門科目
主として養われる資質	基礎的知識・理解	国際関係概論	統計学Ⅰ 統計学Ⅱ		
	専門的知識	経済概論 経営概論 金融概論 法学概論	簿記 経済学A 経済学B 経営学		
	基礎的教養と現代経済社会に関する幅広い知識および思考方法			憲法 経済史	日本経済論 世界経済論
	経済学、経営学やそれらに関する法学の幅広い知識および思考方法			経済政策A, B 経営管理論 財務会計論Ⅰ 原価計算論Ⅰ 経営組織論 経営戦略論 労務管理論 マーケティング 民法Ⅰ 商法Ⅰ	財務会計論Ⅱ 原価計算論Ⅱ マーケティング・リサーチ 民法Ⅱ 商法Ⅱ 行政法 租税法 独占禁止法Ⅰ, Ⅱ
	経済学、経営学やそれらに関する法学の基礎知識に段階的・系統的に接続された応用的な知識			財政学A, B 金融論Ⅰ 計量経済学Ⅰ 企業論A, B 開発経済学Ⅰ 国際経済学Ⅰ アジア経済論A	計量経済学Ⅱ 労働経済学 産業構造論 公共経済学 金融システム論 開発経済学Ⅱ 国際経済学Ⅱ 国際経営論 国際金融論
	基礎知識や応用的な知識を駆使して、現代経済社会の課題を現実的に解決する応用能力			企業ファイナンス 経営情報論 経営情報処理 オペレーション ズ・リサーチⅠ 国際関係論Ⅰ	銀行論 保険論 国際関係論Ⅱ
	現実社会での指導的役割を担う上で必須となる歴史的視野、国際的視野、異文化理解能力、コミュニケーション能力			日本経済史Ⅰ 世界経済史 経営史Ⅰ 英語ビジネスコミュニケーションⅠ	日本経済史Ⅱ 経営史Ⅱ 英語ビジネスコミュニケーションⅡ 異文化コミュニケーション論 国際協力機構論
	課題発見・探求能力、批判的・論理的思考能力、表現・コミュニケーション能力を身につけてそれらを総合して活用できる			演習Ⅰ	演習Ⅱ
	複雑で急速な経済社会の変化に自主的に積極的に対応し、新たな価値を創造すること、地域社会に積極的に貢献しようとする志			地域経済論	中小企業論

経済学部のアドミッション・ポリシー

経済学部は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・ 基礎的学力が身についている。
- ・ 論理的思考力が身についている。
- ・ 英語を含むコミュニケーション力が身についている。
- ・ 強い学習意欲，主体性や行動力がある。

選抜方法に関する別表(求める資質等の評価方法とその比重(特に大きい比重:◎, 大きい比重:○))

選抜方法等		求める資質等 (学力の3要素)	基礎的学力が身についている (知識・技能)	論理的思考力が身についている (思考力等)	コミュニケーション力が身についている (思考力等)	学習意欲, 主体性や行動力がある (主体性等)
一般選抜	前期日程	共通テスト	◎	○	○	
		個別学力検査	○	◎	◎	
		調査書				○
		ペーパー・インタビュー				○
	後期日程	共通テスト	◎	○	○	
		小論文	○	◎	○	
		調査書				○
		ペーパー・インタビュー				○
総合型選抜Ⅰ	筆記試験	◎	◎			
	自己推薦書		○		◎	
	調査書				○	
	面接 (プレゼンテーション型)		◎	◎	◎	
総合型選抜Ⅱ	共通テスト	○	○	○		
	自己推薦書				○	
	諸活動の記録			○	○	
	調査書			○	○	
	面接			○	○	
学校推薦型選抜Ⅰ	小論文	○	◎	○		
	推薦書				○	
	調査書			○	○	
	面接			○	○	
外国人留学生選抜	小論文	○	◎	○		
	英語外部試験	○		○		
	日本留学試験	◎		○		
	面接			○	○	